

令和6年度 中央区立久松小学校 外部評価報告書

評価委員：前田晶雄委員 川口修一郎委員 植田朱美委員 川名信一委員 福田俊子委員  
五味まさみ委員 酒井寛昭委員 及川純委員 野口 幸一委員

報告書作成者：野口幸一委員

評価時期 令和7年2月

## 1 重点目標の評価

### 重点目標1「年間を通じた教育課程の充実」について

- ・今年度より新しく変えた取組についての評価は、数値が低くても仕方がないと思う。なぜ新しいものにしたのかについての説明を丁寧に続けていくことが大切である。
- ・民生・児童委員の部会において、地域によっては学校以外の体験活動（テーマパークや家族旅行など）ができない児童が一定数いるということが話題になった。そのような子どもたちのためにも、学校で様々な体験をさせてほしい。

### 重点目標2「豊かな心と健やかな体の育成」について

- ・暑い中、様々な行事が無事に実施されてきたことが不思議なくらい、猛烈な暑さの日々が続いた。そのような暑さの中で実施された盆踊り大会にも、多くの児童が参加してくれてうれしく思う。地元を愛する気持ちを持ち続けてほしい。PTAでも、子どもの体験活動の充実のために、これからも全力で協力していきたい。
- ・改修工事の期間の長さに驚いた。音や匂いへの配慮をすとはいえ、感じ方は様々である。健康被害が出たり、気になって学習に集中できない児童がいないとよい。

## 2 今後の改善に向けた意見

- ・幼稚園の移転に関しては、環境が変わったので、これまでと比較して評価が低くなったが、新しい環境の中で十分よくやっている。その評価を受け止め、前向きに頑張ってもらいたい。
- ・学校評価では、様々な意見をいただくことができるので、できることに関しては、できるだけ改善できるよう考えていく必要がある。
- ・以前に比べて、地域がと園や学校と関わりにくくなっている。町会のお祭り等から、関わり、つながっていくことができるようにしていきたい。